



アサガオでまちづくり 交流が広がる
「五月が丘アサガオプロジェクト」

公民館の呼びかけで始まった「五月が丘アサガオプロジェクト」。最初は、集会所で育てていたが、年々、活動が広がり、一家に一鉢運動へと移行した。夏になると、あちらこちらの家の庭先でアサガオが咲き並び、涼しげな光景に癒されることもしばしば。種を分け合ったり、育て方を相談するなど、花づくりを通して住民の交流が広がっている。

- 内 容 五月が丘アサガオプロジェクト「一家に一鉢 アサガオ運動」
 - ・ 個人宅での種まき、育成
 - ・ 公民館による種の配付、写真展示 等
- 場 所 五月が丘公民館、団地内の民家
- 開始時期 平成22年4月
- 実施主体 五月が丘公民館
五月が丘団地内の町内会



取組のステップ



アサガオのある心やすらぐまちに

公民館職員が、前年に公民館で育てたアサガオの種を希望者に配ったことをきっかけに、「五月が丘アサガオプロジェクト」が始まった。

団地をアサガオで彩り、心やすらぐまちをつくりたいとの思いから住民に呼びかけた。多くの人に参加してもらえるよう、育て方等の講習会も開いた。

一家一鉢運動へと広がる

プロジェクトの参加者は、最初は56人で、翌年は126人、その翌年には186人と、一家一鉢運動として地域に広がっていった。

涼しさをもたらすだけでなく、見る人の心を癒してくれると好評だ。また、水やりの時に声をかけるなど、アサガオを話題に交流が深まっている。

公民館で展示

公民館では、家庭で育てたアサガオの写真を展示している。「あさがおサロン」と名付けたロビーで、多くの人が集い写真を見ながら会話を楽しむ。



工夫していること等

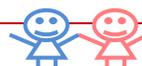
公民館も率先してアサガオを育てる

一家一鉢運動が広がるよう、公民館も率先して取り組んでいる、公民館の敷地にプランターを置いて、壁面全体にアサガオのツルを伸ばしている。

課題・今後の展開

- 一家一鉢運動への参加者を増やす。

みんなの声



〈住民〉

- アサガオは、育てやすいのでプロジェクトに参加しやすかった。
- 団地のいろいろなところで、アサガオが咲いている光景がとてもいい。

〈主催者〉

- 皆さんの協力で、アサガオづくりの輪が広がり地域の絆が深まった。これからも、楽しんで花づくりができるよう呼びかけていきたい。